



学校だより



No.11
令和4年3月23日
東京女学館小学校

分かち合う知恵

小学校長 田中 均

3月18日に74名の卒業生が巣立っていきました。卒業生へのメッセージを紹介します。

みなさんに、「分かち合う知恵」という言葉を贈ります。

新型コロナウイルス禍で迎えた卒業です。この間、わずかなものでも、ささいなものでもそれを共有しあうことの喜びと大切さをみなさん自身がよくわかっていると思います。自分が思っているよりもずっと皆さんは愛されている、このことを忘れないでください。

キリスト教の4つの福音書のどれにも書かれていることがあります。「5つのパンと2匹の魚」というお話です。イエス・キリストが、五つのパンと二匹の魚をもって男の人だけで五千人の人の空腹を満たされたという奇跡です。キリストの十字架の死と復活の出来事以外に、四つの福音書すべてに記録されているのはこの奇跡だけです。そんなことができるわけがないと思うでしょう。しかしこれは奇跡なのです。キリスト教の中で「分かち合うこと」の大切さを説かれているものなのです。

キリスト教ばかりではありません。仏教にも「利益（りやく）」という言葉があります。同じ漢字で書きますがこれを「りえき」と読むと「もうけ」という意味になってしまいます。けれども仏教で「りやく」と読むとずいぶん意味が違ってきます。自分が利益を得るということだけでなく、他の人を益（えき）すること、恵みを与えるということがなければなりません。自ら利益を得ることは同時に、他の人びとを利益することとでなければなりません。それが菩薩の精神であり、実践だということです。

分かち合うこと、それは人類の知恵と言ってもよいでしょう。

中学校に進学する皆さんは、だんだんと視野が広がっていくことに違いありません。世界に眼を向けると幸せを分かち合うことの大切さとむずかしさを同時に感じます。地球環境に目を向けると命を分け合っている私たちの姿が見えてきます。こうした大切で意味のある、それだけにむずかしい問題を考えることにみなさんはためらうかもしれませんが、皆さんにはできるはずです。みなさんの6年間の小学校生活は見事に助け合いながら励ましあいながら今を一生懸命に生きてきたではないですか。目の前の時間、目の前の日々を一生懸命に生きること、自分のこと、友達のこと、家族のこと、日本のこと、地球のこと、世界のこと、それを一生懸命に考えること、得ることのできた恵みをどのようにすれば多くの人たちと分け合うことができるかを考えること、そうすることが、「分かち合う知恵」になっていくのです。

学芸会 (2月24日～28日)

運営委員 教諭

1年生は「いってみたい。あんなところ、こんなところ」2年生は「ゆめどろぼうウンパッパ」3年生は「小さい「つ」が消えた日」4年生は「サプライズ教室」5年生は「コロナ追い出し大作戦!!」6年生は「英語劇一休さん」を発表しました。新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、密にならない工夫やオンライン授業

業中での劇の練習等、多くの困難を一つひとつ乗り越えていく日々でした。そして子どもたちは、こうした状況の中で、精一杯の頑張りを見せてくれました。子どもたち、ご家庭、教職員、皆で力を合わせて実施できたことに心から感謝申し上げます。



鼓隊引継ぎ式 3月15日(火)

6年生音楽担当教諭

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの鼓笛隊の活動を行うことはできませんでした。5月に行われた運動会では鼓隊として活動を行うことができました。けれど、体操朝会、舞台発表…活動したい気持ちは山々でしたが、それは叶いませんでした。東京女学館小学校の鼓笛隊は40年以上、先輩方から引き継がれているものです。新型コロナウイルス感染症の為に絶やすわけにはいきません！今年度も6年生全員の気持ちを『♪ソラシド・マーチ』の曲に乗せて、TV朝会で動画配信により『鼓隊の引き継ぎ式』を行いました。指揮棒以外の楽器を直接引き継ぐことはできませんでしたが、心のバトンでしっかりと引き継ぐことができました。以下は6年生代表 ○○さんのご挨拶です。

今年度も残念ながら、鼓笛隊としての活動はできませんでしたが、運動会では鼓隊の演奏だけ行うことができました。その後も活動はありませんでしたが、来年度こそ『鼓笛隊』としての活動ができることを信じて、お姉さま方から引き継いでいる『鼓笛隊』のバトンをお渡ししたいと思います。これからも、私たちの伝統ある鼓笛隊が受け継がれて行くことを心から願っています。 6年 児童



5、6年生ドッジボール交流

体育科 教諭

毎年3月に行われる送別ドッジボール大会。ドッジボールを通して6年生の卒業をお祝いする会で、本校の体育では50年以上受け継がれている大切な行事です。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、全学年で実施することが難しくなりました。何とか違う形で開催できないかと検討し、3月14日(月)の体育の授業内で、5、6年生がA組同士、B組同士でドッジボールの交流をしました。「ドッジボールをめいっぱい楽しむ」ことが最大の目的です。校庭の3コートを全部使い、審判なしで行いました。勝敗がなくても、5、6年生は全力です。6年生の力強いプレー、5年生の勇気あるナイスプレーには自然と拍手がおこりました。最後には、下級生代表として5年生が6年生へお祝いの言葉とともに花束を贈呈し、卒業をお祝いしました。



こどものくににいったのしかったです。かかりのおしごととちやんとはたせてうれしいです。こどもどうぶつえんにいくとき、とおまわりしちやってまいごになりました。けれどおじいさんがみちをおしえてくれました。こどもどうぶつえんには、モルモットやくじゃくがいました。くじゃくがはねをひらいたとき、きれいでした。 1A 児童

わたしはローリングサイクルがたのしかったです。上がる場所や下がる場所で、はやくこぐとたのしかったです。おもしろくてん車にもりました。ぼくじょうでえさをあげました。一ぴきだけかおがくろいやぎがいました。ゆうぐひろばのながいすべりだいで、せいでん気がぴちってなっていたかったです。 1A 児童



わたしは、はんちょうとしてみんなをまとめるのが、大へんだったけれど、みんなでえをかけあいながら、けいかくどおりにあそぶことができました。みんなでたべたソフトクリームはさいこうでした。足をまげたりのぼしたりするおもしろくてん車やスピードがはやくなったりおそくなったりするローリングサイクルがたのしかったです。 1B 児童

わたしは、ちずがかりだったのでみちをまちがえないように気をつけました。こどもどうぶつえんでは、はじめてくじゃくがじっさいにはねをひろげているのを見ることができました。とってもたのしい1日になりました。 1B 児童

生活科校外学習こどもの国 2 年生 3 月 11 日

楽しいこどもの国

今日は、こどもの国に行きました。

まず、のりもの広場に行きました。さいしょは、ローリングサイクルにのりました。とくに、さかを下るときに、とてもスピードがはやかったので、すごく楽しかったです。

つぎに、どうぶつ園に行きました。こどもどうぶつ園には、かわいいどうぶつがたくさんいました。どうぶつにえさをあげたら、やぎしか食べませんでした。ふれあい広場では、うさぎとモルモットをさわりました。うさぎはフワフワで、モルモットは、「話しかけて、耳をすませて聞くと、何か聞こえるよ。」と書いてあったので、お名前を聞いてみると、小さな声でしゃべっていてすごかったです。

つぎにキュービッklandに行こうとしたけれどヘビが出る森に行ってしまうと時間がなくなってしまったので、お昼ごはんにしました。お昼の後にキュービッklandに行きました。さいしょは行けるか心配だったけれど、ちゃんととうちやくしてよかったです。こどもの国は2回目だったけれど、とてもたのしかったです。

2A 児童



道にまよったこどもの国

2B 児童

今日はまちにまよった遠足でした。前の日からウキウキして、てるてるぼうずを作って、早ねをしました。

わたしは時計がかりです。はりきって、時計を読むれんしゅうをしました。わたしは、レクがかりでもあります。バスの中でなぞなぞの本も読みました。

こどもの国につくと、少し時間がおくれてしまっていたので、いそぎ足で歩きました。でも、道にまよってしまい、キュービッklandに行く時間がなくなってしまいました。そこで、どうしようと思い話し合いをはじめました。わたしは、「どうぶつしゃに行くのはやめて、キュービッklandに行くのはどう？」とていあんしてみました。でも、ほかにもたくさんのていあんがあり、話し合いが30分もつづいてしまいました。そのため、午前中は何も計画通りにいきませんでした。でも、午後はよいて通りにいってよかったし、きちんとしゅう合時間に間に合って、よいおべん強になりました。

令和3年度リボンの会 ご挨拶

リボンの会会長

昨春、期待を胸にスタートいたしましたリボンの会は、まもなく活動を終了いたします。始めに、いつもあたたかく私達をお導きくださいました先生方、そして、一緒に活動してまいりましたクラス代表の皆様へ心より御礼申し上げます。またいつもご理解、ご協力を賜りました保護者の皆様、誠にありがとうございました。制限がある中での活動となりましたが、いつも最善を尽くしお心を寄せてくださいます先生方のお姿に、深く感銘を受けた一年でございました。私達も先生方をお手本に、一つ一つ心を込めて活動させていただきました。微力ながら東京女学館小学校のお役に立てましたなら大変嬉しく存じます。リボンの会から児童並びに教職員の皆様へは、「TJKジップロック」をお届けいたします。学校やご家庭でお使いいただけましたら幸いです。また、児童養護施設「窓愛園」の皆様へ、寄付金 10 万円とみかん二箱をお贈りさせていただきましたことをご報告申し上げます。リボンの会は新年度に向けて、素敵なお新四役の皆様がその始動の時を待っております。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願いいたしますと共に、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

3 月の生活目標「一年間の反省をする」

一年間のまとめの時期です。学校や学級の目標・一人ひとりの目標に対して、どのように自分が取り組んできてどこまで達成することが出来たか、自身をふりかえることが大切です。子どもたち自身が成長を感じ、次の目標を設定することができるよう励ましていきます。コロナ禍の中、友だちと助け合って生活し、多くのことを学び、大きく成長したこの一年でした。ご家庭でもこの一年間の成長を話題にして認め、褒めていただけると、次年度への励みになりますのでよろしく願いいたします。

来年度運動会のメダル決定

体育科 教諭

運動会の参加賞になるメダルデザインを全校から募集しました。各クラスで選ばれた候補作品の中から、全校児童で投票を行い、来年度は3年A組児童のデザインに決まりました。

「T J K」のボタンが繋がる瞬間が、とても素敵に描かれています。

どんなメダルキーホルダーが出来上がるのか、運動会を楽しみにしててください。



「公共交通マナー等絵画コンクール」の表彰

図工科 教諭

冬休み前にお知らせいたしました東京都交通局主催の「公共交通マナー等絵画コンクール」で、本校から52名の作品応募がありました。そして、その中から最優秀賞を含む10名の作品が入賞いたしました。子ども達の作品では、女学館の赤いリボンが華やかに描かれており、静かにバスを待つ、席をお譲りするなどの姿はどれも凛とした姿で印象に残るものとなっております。最優秀賞に選ばれた作品は、既に恵比寿駅や都バス車内の電子公告で紹介されており、子ども達からも「見たよ!」などの声が聞こえております。また、入賞作品は応募したテーマごとに馬喰横山駅及び三田駅構内のギャラリーコーナーにて、3月31日(木)まで掲示されております。お近くにおでかけの際はぜひご覧ください。



最優秀賞 3年B組 児童の作品

生活指導部より

指導部長

Suica・Pasmo を通学に使用する場合、次のことにご注意ください。カードマネー機能がついていますが、登下校中は通学以外の目的(買い物等)で使用させないでください。通学に必要な金額を確認して、保護者の方があらかじめチャージしておいてください。また、学バスで使用する場合、定期入れに Suica・Pasmo が入っていると、バスの定期券を見せる時に機械に反応して料金をとられる場合があります。利用方法と注意事項については、各ご家庭でもご指導ください。また、定期券の期限切れ、IC カードのチャージ忘れのないよう、十分ご注意ください。春休み中に「児童手帳」「保護者のしおり」を読み直し、新年度にむけて学校のきまりをしっかりと確かめてください。(新年度一部変更あり)

令和3年度 第88回卒業式

小学校教頭 下田 栄子

3月18日に記念講堂で東京女学館小学校第88回卒業式を挙行了しました。担任の先生の氏名称に、「はい」と精一杯答えた卒業生。この2年間、大きい声を出さないよう気を付けて生活を送ってきましたので、個々の思いのこもったその響きは、いっそう感慨深いものでした。Zoom を利用して参加した在校生も、田中校長先生から証書をいただくお姉さま方の晴れ姿を心に焼き付けたことでしょう。式終了後、小学校校庭に帰って来た6年生を包んだのは、下級生からの「おめでとうございます!」と拍手の渦。異学年交流を控えた学校生活でも、子どもたちの間にはちゃんと、温かいつながりが育まれていました。支えてくださった保護者の皆様への感謝の意をもって、卒業生74名の新たな旅立ちを皆で祝福いたしました。

